

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2013-1-551
研究課題名 4D-MRAによるモヤモヤ病の検討
研究期間 西暦 2014年 3月（倫理委員会承認後）～ 2015年 3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（MRI画像 ）
上記材料の採取期間 西暦 2013年 06月～ 2014年 02月
意義、目的 従来、モヤモヤ病の診断・ステージングには脳血管撮影が gold standard とされていますが、侵襲性の高さや放射線被曝の観点から、主としてMRIが臨床的に用いられているのが現状です。MRIによる脳血管の評価にはMR angiography（MRA）が用いられていますが、脳血管撮影に比して、血流の動態を正確に把握することが難しいとされています。一方、新たに導入された4D-MRAはダイナミックな血流動態を把握することができ、脳血管撮影に比してはるかに非侵襲的に行うことができます。今回の研究の目的はモヤモヤ病の術前および術後の病態の把握に4D-MRAを応用できるかどうか、検討することです。
方法 本研究では2013年6月から2014年2月までにMRIが施行され、MRAと4D-MRAの両撮像法を遂行できたモヤモヤ病患者さん70例を対象とし、両撮像法の比較検討を行います。2名の神経放射線科医が脳血管の描出能の評価を独立して行い、2つの撮像法の優劣に関して統計学的検討を行います。なお、観察者間の一致率や同一観察者内における再現性についても検討を加えます。
問い合わせ・苦情等の窓口  東北大学病院 放射線診断科 助教 村田隆紀 TEL: 022-717-7312